

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第39期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社アスモ
【英訳名】	ASMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長井 尊
【本店の所在の場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06(6683)3101
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室室長 岡田 秀樹
【最寄りの連絡場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06(6683)3101
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室室長 岡田 秀樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第1四半期連結 累計期間	第39期 第1四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	2,194,009	3,286,674	9,872,253
経常利益(千円)	180,042	505,534	821,273
四半期(当期)純利益(千円)	157,995	390,922	768,143
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	156,433	425,981	869,099
純資産額(千円)	1,585,855	2,730,620	2,304,639
総資産額(千円)	3,042,149	4,571,197	4,087,359
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	1.13	2.79	5.48
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.6	55.0	51.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第38期第1四半期連結累計期間につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第38期、第39期第1四半期連結累計期間につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

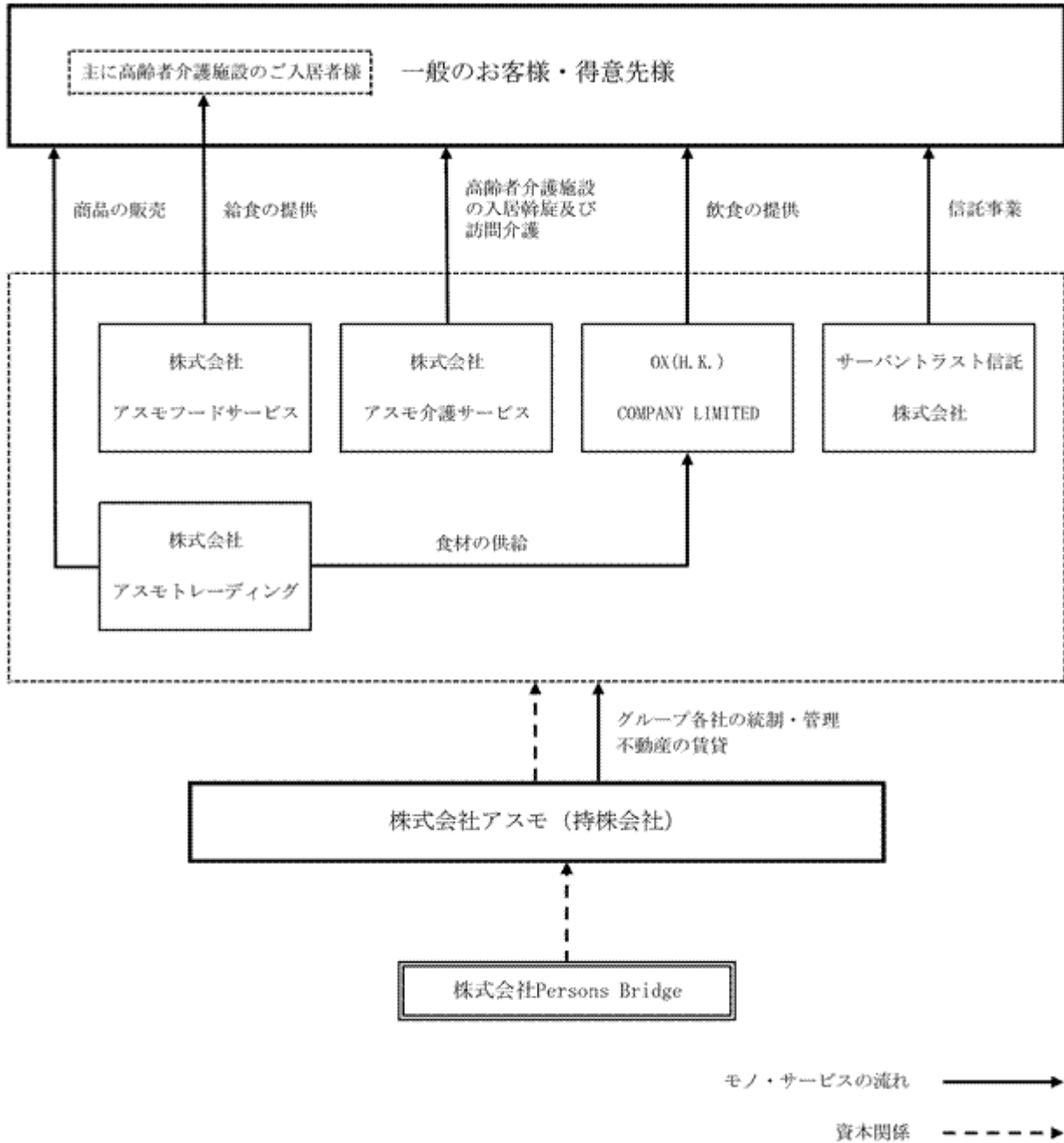
なお、当社は平成25年4月1日付で、当社が営む卸売事業及び給食事業を会社分割により当社の100%子会社に承継いたしました。また、当社は持株会社として、事業目的を持株会社制移行後の事業に合わせて変更しております。

この結果、当社グループは、当社及び連結子会社5社により構成されております。

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモレーディング事業 (株式会社アスモレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX(H.K.)事業 (OX(H.K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバントラスト信託株式会社)	信託事業

事業の系統図は、次頁のとおりであります。



第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済対策や日本銀行による金融緩和により、円高是正、株価回復が進み、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、欧州債務危機問題や中国経済の減速懸念などの不安要素もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む(株)アスモトレーディング、給食事業を営む(株)アスモフードサービスを新設分割の方法により設立いたしました。

今後、当社は持株会社として経営戦略業務に特化し、各子会社は前述新設分割の目的を達成することで事業規模の拡大と経営基盤の強化をはかり、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,286百万円（前年同四半期比 49.8%増）、営業利益501百万円（前年同四半期比 165.7%増）、経常利益505百万円（前年同四半期比 180.8%増）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、390百万円（前年同四半期比 147.4%増）となりました。

主なセグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX(H.K.)事業 (OX(H.K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバントラスト信託株式会社)	信託事業

アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、穀物価格高騰による飼料価格の上昇や円安の進行による原材料輸入価格の上昇、原油高による運送・保管料等の上昇により、仕入コストが急激に増加し販売価格に転嫁することができませんでした。

販売に関しては、当社の特徴であるメキシコ産商品の供給により他社との差別化を図ることで、安定的な取引を継続することができました。今後は、メキシコ産商品に加えて米国産牛肉や畜種の取扱いを増やし、合わせて当社独自の視点により日本のマーケットに見合った商品を開発することで、既存顧客の満足度の向上と新規顧客の拡大で販売の増加に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、457百万円、セグメント利益（営業利益）は、1百万円となりました。

アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、お客様の嗜好、施設様のニーズに合わせて食事を提供させていただくために、給食会議や懇談会等からご意見を賜り、よりお客様にご満足いただけるように努めております。

また、お客様の嗜好に合わせてメニューを選ぶ事ができるセレクト食やその他として、噛み砕くことや飲み込むこと等が困難な方にミキサー・ソフト食なども対応しております。

さらに、マグロ解体ショー、握り寿司イベント、そば打ちイベント、パティシエイベント等を基本とし、職人の技術と吟味された食材をお客様に提供するため各種イベントにも対応し、お客様に喜ばれる企画をご提案させていただいております。

今後ともお客様の立場にたった提供を心がけ、さらに日々の健康管理にも寄与できればと考えております。

なお、当第1四半期連結会計期間末時点における受託施設数（労務委託等の部分委託を含む）は、259施設（前年同四半期末時点は196施設）となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,588百万円、セグメント利益（営業利益）は、52百万円となりました。

アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、前期に当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護の分野に進出いたしました。

新たに開始しました訪問介護につきましては、事業の開始以来積極的な事業所の開設を進めており、当第1四半期連結会計期間末時点において、31事業所（大阪府内10事業所、埼玉県内6事業所、神奈川県内4事業所、千葉県内3事業所、東京都2事業所、他6事業所）を設置し、ご契約者数は1,343名となっております。

今後におきましても、関東を中心に事業所の営業を開始し、ご契約者数は大幅に増加すると考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、814百万円、セグメント利益（営業利益）は、339百万円となりました。

OX（H.K.）事業

OX（H.K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、1979年の会社設立以来、香港にて外食店舗を運営しております。

なお、業態につきましては、以下のとおりであります。

業 態	特 徴	店舗数
秀吉・焼?屋	お好み焼き・たこ焼き・大判焼き等の大阪の粉もん文化をコンセプトにしたファストフード店	5
今 助	うどんを中心に寿司や天婦羅を組み合わせた、御膳メニューの和食店	2
山 頭 火	ラーメン「山頭火」のフランチャイジー	1
北 の 坂	スパゲティ・オムライス・カレーライス等の日本の洋食を凝縮したファストフード	3
蔵 人	豊富な和食メニューを取り揃えた居酒屋	2
合 計		13

今後におきましても、本格的な和食の浸透に向け、食材にこだわり「秀吉・焼?屋（ヤキマッセ）」、「今助」を中心に、立地条件にあった業態店舗を出店してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、417百万円、セグメント利益（営業利益）は、29百万円となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、セグメントごとの仕入、販売実績が次のとおり著しく変動いたしました。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比(%)
アスモ事業 (千円)	-	-
アスモトレーディング事業 (千円)	559,382	-
アスモフードサービス事業 (千円)	628,940	-
アスモ介護サービス事業 (千円)	-	-
OX(H.K.)事業 (千円)	112,566	-
報告セグメント計 (千円)	1,300,888	-
その他 (千円)	-	-
合計 (千円)	1,300,888	126.7

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比(%)
アスモ事業 (千円)	2,059	-
アスモトレーディング事業 (千円)	457,628	-
アスモフードサービス事業 (千円)	1,588,357	-
アスモ介護サービス事業 (千円)	814,191	-
OX(H.K.)事業 (千円)	417,583	-
報告セグメント計 (千円)	3,279,821	-
その他 (千円)	6,852	-
合計 (千円)	3,286,674	149.8

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	600,000,000
計	600,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	151,451,750	151,451,750	(株)東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	151,451,750	151,451,750	-	-

(注) 発行済株式数のうち4,610千株は、現物出資(貸付金債権299,650千円)によるものであります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	151,451	-	2,323,272	-	2,336,010

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,242,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 140,199,000	140,199	-
単元未満株式	普通株式 10,750	-	-
発行済株式総数	151,451,750	-	-
総株主の議決権	-	140,199	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アスモ	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号	11,242,000	-	11,242,000	7.42
計	-	11,242,000	-	11,242,000	7.42

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,004	959,803
受取手形及び売掛金	1,288,914	1,426,167
商品	266,011	291,035
貯蔵品	11,957	12,711
繰延税金資産	446,616	473,809
その他	73,013	104,223
貸倒引当金	2,104	3,912
流動資産合計	2,758,414	3,263,836
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	575,331	564,359
有形固定資産合計	575,331	564,359
無形固定資産		
のれん	572,306	554,695
その他	2,242	3,713
無形固定資産合計	574,549	558,409
投資その他の資産		
その他	513,477	504,039
貸倒引当金	334,412	319,448
投資その他の資産合計	179,064	184,591
固定資産合計	1,328,945	1,307,360
資産合計	4,087,359	4,571,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,497	383,391
短期借入金	406,208	406,208
未払法人税等	199,427	123,444
賞与引当金	116,047	177,798
返品調整引当金	8,051	9,976
その他	609,026	689,924
流動負債合計	1,734,258	1,790,744
固定負債		
長期借入金	8,974	8,104
退職給付引当金	31,397	34,158
その他	8,089	7,568
固定負債合計	48,461	49,832
負債合計	1,782,720	1,840,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	2,600,681	2,209,759
自己株式	42,303	42,303
株主資本合計	2,054,631	2,445,553
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	60,830	70,188
その他の包括利益累計額合計	60,830	70,188
少数株主持分	189,176	214,878
純資産合計	2,304,639	2,730,620
負債純資産合計	4,087,359	4,571,197

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,194,009	3,286,674
売上原価	1,561,530	2,204,162
売上総利益	632,478	1,082,512
返品調整引当金戻入額	10,193	8,051
返品調整引当金繰入額	7,227	9,976
差引売上総利益	635,444	1,080,587
販売費及び一般管理費	446,764	579,290
営業利益	188,679	501,297
営業外収益		
受取利息	25	16
為替差益	-	6,661
その他	1,902	198
営業外収益合計	1,928	6,876
営業外費用		
支払利息	3,119	2,170
為替差損	4,607	-
その他	2,838	468
営業外費用合計	10,565	2,639
経常利益	180,042	505,534
特別損失		
固定資産売却損	36	-
賃貸借契約解約損	-	420
その他	-	36
特別損失合計	36	456
税金等調整前四半期純利益	180,005	505,077
法人税、住民税及び事業税	16,186	123,821
法人税等調整額	-	26,375
法人税等合計	16,186	97,445
少数株主損益調整前四半期純利益	163,819	407,631
少数株主利益	5,823	16,709
四半期純利益	157,995	390,922

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,819	407,631
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,385	18,349
その他の包括利益合計	7,385	18,349
四半期包括利益	156,433	425,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,229	400,280
少数株主に係る四半期包括利益	2,204	25,701

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社アスモトレーディング及び株式会社アスモフードサービスを連結の範囲に含めております。

これは、平成25年4月1日付で当社を分割会社とし、当該会社を新設会社とする分社型の新設分割によるものであります。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
従業員(1名)	56千円	26千円
堂島ホテル㈱	154,823	102,232
計	154,879	102,259

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	13,402千円	20,266千円
のれんの償却額	7,410	17,611

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	-	2,194,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	-	2,194,009
セグメント利益	20,666	19,208	178,520	43,939	262,335	73,656	188,679

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,335
のれんの償却額	6,090
全社費用(注)	67,566
四半期連結損益計算書の営業利益	188,679

(注)全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H.K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,059	457,628	1,588,357	814,191	417,583	3,279,821	6,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	166,700	4,404	3,352	-	-	174,457	-
計	168,760	462,033	1,591,710	814,191	417,583	3,454,279	6,852
セグメント利益又は損 失()	95,232	1,638	52,317	339,127	29,947	518,262	16,965

（単位：千円）

	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
売上高			
外部顧客への売上高	3,286,674	-	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,457	174,457	-
計	3,461,132	174,457	3,286,674
セグメント利益又は損 失()	501,297	-	501,297

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	518,262
「その他」の区分の利益又は損失()	16,965
四半期連結損益計算書の営業利益	501,297

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、従来の「卸売事業」、「給食事業」、「介護事業」及び「外食事業」を「アスモ事業」、「アスモレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「OX(H.K.)事業」に区分し報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成した情報は次のとおりであります。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	457,628	417,583	1,588,357	814,191	3,277,761	8,912	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,404	-	3,352	-	7,757	-	7,757
計	462,033	417,583	1,591,710	814,191	3,285,519	8,912	3,294,431
セグメント利益又は損 失()	5,225	31,347	208,220	344,938	589,731	14,905	574,825

(単位：千円)

	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
売上高		
外部顧客への売上高	-	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,757	-
計	7,757	3,286,674
セグメント利益又は損 失()	73,528	501,297

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	589,731
「その他」の区分の利益又は損失()	14,905
のれんの償却額	7,410
全社費用(注)	66,117
四半期連結損益計算書の営業利益	501,297

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称及びその他取引の概要に関する事項

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 当社の卸売事業

事業の内容 食肉及び食肉加工品の販売を行っております。

事業の名称 当社の給食事業

事業の内容 高齢者介護施設等へ給食を提供しております。

(2) 企業結合日

平成25年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、新たに設立する株式会社アスモレーディング(当社の連結子会社)に、当社の卸売事業を承継させる新設分割

当社を分割会社とし、新たに設立する株式会社アスモフードサービス(当社の連結子会社)に、当社の給食事業を承継させる新設分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社アスモレーディング(当社の連結子会社)

株式会社アスモフードサービス(当社の連結子会社)

(5) その他取引の概要に関する事項

会社分割を行う目的

事業分野において専門化・特殊化が進む市場への迅速・的確な対応

事業分野に適応した人材の育成・教育・採用

事業分野に特化した判断による業務の効率化

経営責任の明確化

将来を担う経営者の育成

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	1円 13銭	2円 79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	157,995	390,922
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	157,995	390,922
普通株式の期中平均株式数(千株)	140,209	140,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額につきましては、前第 1 四半期連結累計期間につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第 1 四半期連結累計期間につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社アスモ
取締役会 御中

清 和 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井堂 信純 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 坂井 浩史 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高橋 潔弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスモの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスモ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成25年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表は、前任監査人によって四半期レビューが実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成24年8月10日付で無限定の結論を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- （注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。